

官僚という働き方～筑紫会～

編集/久保

九大生の公務員志望者支援サークルである筑紫会。その運営に携わっている国家公務員I種内定者の三人に、お話を伺いました。

—なぜ国家公務員I種（以下、国家I種）を選んだのですか。



おもそ

自分の生涯を通して何をやりたいかを考えたとき、教育に関して実現したい社会像がありました。その為に文部科学省で働くという方法を選び、それが結果的に国家I種を志すことに繋がりました。



こむら

自分のやりたいことに日本経済の活性化があり、同時に進めた就職活動の中で日本のいろんなところにまだまだ眠っているものがあると感じました。そういった日本の魅力を引き出す仕事がしたいなあと考え、法や制度を、世の中のニーズに合わせて作り上げていく、国家公務員という仕事に惹かれて志望しました。



やの

僕はもともと少年非行に興味があったので、それに少年矯正という視点からアプローチをし、そのシステム作りにおいて貢献したいと思い、法務省のI種職員を考えました。

—成し遂げたいことが志望に不自と繋がったということですね。



おもそ

僕が就活を通して思ったのは、何になりたいかではなくて、何をやりたいかということが決定的に重要だということです。



やの

僕たちに限らず公務員志望の人たちは、それがあくまで手段にしか過ぎず、その先の目的があります。やはりそれを強く持っている人が内定しているなという実感が、特に一種の場合はありましたね。

—国家I種の選抜方法について教えてください。



やの

まずはペーパーテストですね。択一試験が、教養と専門でそれぞれあります。それが一次試験です。次に二次試験では、総合記述一問と専門記述を五科目中三問選択します。また、人事院が行う面接があります。



おもそ

そこで合格すれば、官庁訪問での採用面接を受けるための資格を得られます。これを最終合格といいます。官庁訪問は、民間で言う採用面接にあたるものですね。ですから、最終合格者が全員採用されるとは限らないということです。



こむら

官庁訪問は、第一クールから第六クールまであり、最大で十二日間面接を受け続けます。それが朝八時半集合で、解散は遅いところなら終電前というような日々を、土日挟んで二週間ちょっと続けるプロセスですね。第六クールまで残り採用されれば、そこで初めて内定をもらえます。

—国家I種を目指すにはどういうことをしていけばいいと思いますか。



こむら

もちろん大学の勉強にはしっかりと取り組んでほしいと思います。その中で海外に行ったり、あるいは地域の活動に参加したり、いろんな人や文化に触れる経験をしてほしいです。そこから自分の将来について考える種がいっぱい出てくるんじゃないかなあと考えています。



こむら

小村くんが言っているように、一言でいえば自分磨きをしてほしい。ペーパーテストで最終合格するかどうかは勉強量に関わりますが、内定まで勝ち残れるかどうかは、勉強以外の部分がいかに充実しているか、が重要な点になると思うんですね。自分の強みをアピールする、自分はこういう人間なんだ、と話すことができるくらいの充実した大学生活を、勉強以外の面でも広げていってほしいなと思います。

—筑紫会はどのようにして出来たのですか。



こむら

筑紫会は、僕が公務員講座の六期生の中で、国家I種を目指す学生を集めて活動していたグループが前身になっています。三年の秋ごろ、前の年に九大から事務系で一人しか内定者が出ていないということを知り、九大生の持つてやる力からしてそんなことはないだろう、もっと意識を高く持ってやればできるはずだと思い、週に一回グループワークを行ったり、OB、OGに会って話を聞いたり、という活動を始めました。



おもそ

今年は多くの事務系志望者が内定をいただけただので、これを期にそのグループワークを発展的なものにして、やればできるのに今ひとつ殻を破れない九大生へ、刺激や情報を提供するお手伝いをしたいな、という思いから筑紫会を組織しました。

—今後の活動や展望は。



おもそ

引き続き内定者座談会や説明会を開催して、九大生に情報提供をしていきたいですし、僕たちが官庁訪問や就活を通じて経験したものを後輩に伝えたいと思いますね。



やの

筑紫会の参加者には地方上級志望者もいます。そういった方々にもグループワークにぜひ参加していただきたいと思っています。



こむら

自分の人生を本気で考えるきっかけを提供できればと思います。九大生はもっと輝けるはずですよ。

筑紫会のホームページはこちら
→ <http://chikushikai.jimdo.com/>

公務員試験について興味がある、質問してみたいという方は、是非チェックしてみてください。

法学部四年
重親龍志さん
文部科学省内定

法学部四年
矢野正大さん
法務省内定

法学部四年
小村将之さん
総務省内定